



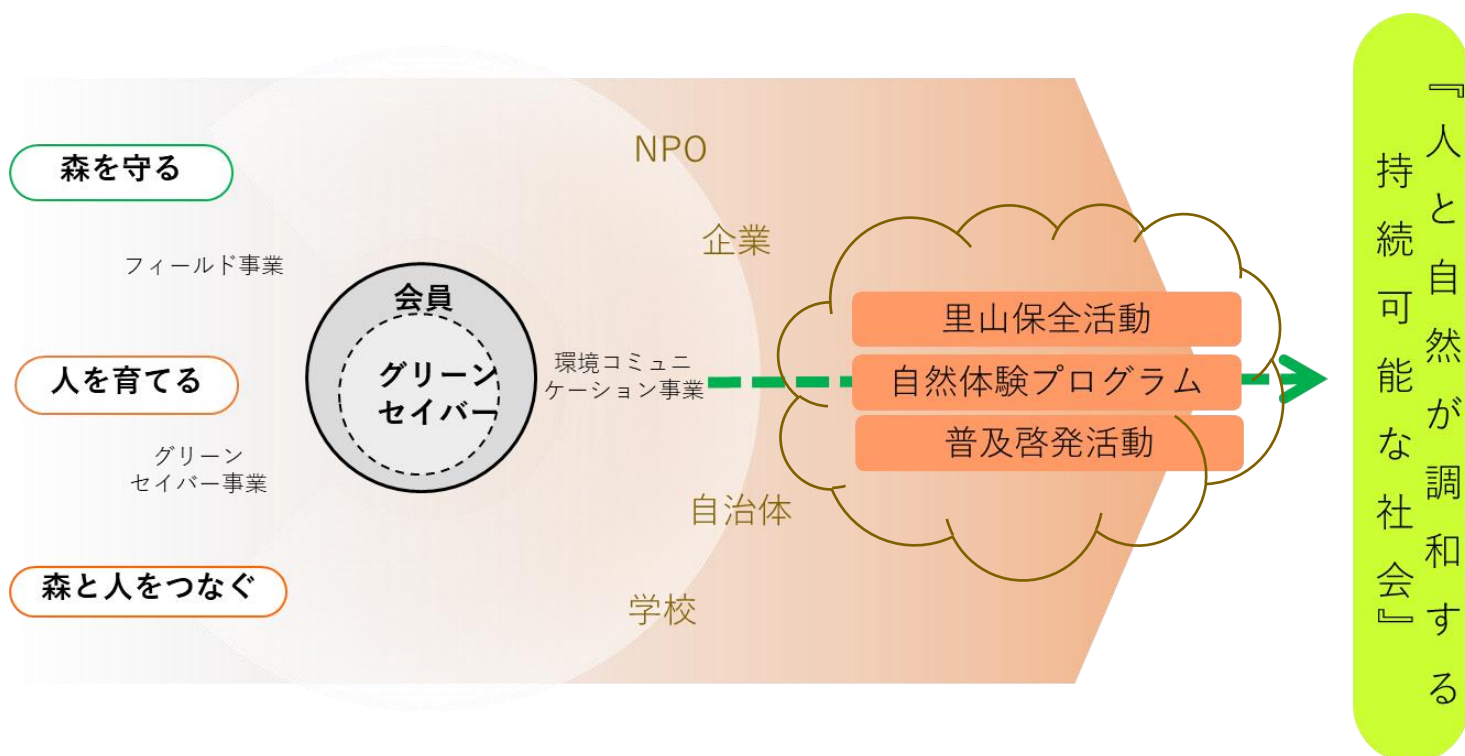
2020 活動計画

樹木・環境 ネットワーク協会



活動のあり方を皆様とともに考えます。

この数年、気候変動がもたらす甚大な災害が頻発し、今は新型コロナの感染拡大で世界中が混乱に陥っています。人口は地球規模で爆発し80億人に手が届こうとしており、人は都市に集中しています。水や食料が足りなくなるとい警告、破壊され続ける森林、マイクロプラスチックごみで汚染され続ける海。。。このままいけば近い将来に持続不可能な時代が到来することが現実味を帯びてきました。今、私たちを苦しめている災害やコロナは、まさに私たちがもたらした人災ともいえるかもしれません。



私たちは25年間にわたって、里山保全活動、自然体験プログラム、普及啓発活動を続けてきましたが、協会が創設された頃と比べて、時代背景は大きく変わりました。さらにいま、世界ではコロナ後の生き方を模索する動きが興りつつあります。

この大きな変化の中で、協会に求められることは何か、どのような活動が必要とされているか。私たちはいま、あらためてこれらの問いに向き合い、考える時期にきているようです。

私たちはその答えを、会員の皆様や協働していく皆様との対話を通して模索したいと考えています。

そのために今年度は、活動や事業と並行して、皆様の声を聞き、意見を集め、一緒に考える機会を様々な形で設ける予定です。

「人と自然が調和する持続可能な社会」を実現するために、私たちは次の一歩をどう踏み出すべきか。その答えをぜひ一緒に考えてください。



森を守る



観察・体験活動の実施

グリーンセイバーの行っている観察会や体験活動はどのフィールドでも実施可能なものも多くあります。学校の授業を受け入れているフィールドもあり、フィールドを場とした活動を促し、フィールド活動の普及・広報にもつなげます。



フィールド間の支援

13箇所のフィールドでは地域や環境によって特徴があり、それぞれで活動を進めているのが現状です。しかしながら、長年培われた技術と人材は、双方に展開できるものと考えています。伐木に関する技術、調査・データ蓄積、人的支援等、フィールド間で提供しえるような、横の連携ができる関係づくりを目指します。

三輪×TAMAZO

三輪里山では、里山整備において豊富なスキルと人材があります。そこで培われたスキルを体系的に伝えていくための里山林塾を開催しています。

一方、TAMAZOでは、保全エリアの拡大とともに作業量の課題がありました。特にTAMAZOの昆虫の森では大木の処理において課題がありましたが、引き続き里山林塾の講師とメンバーの協力により、課題をクリアし大きく作業を進めています。



協働活動の展開

クライアントや企業、学校等との協働した活動、イベント等の実施を増やします。保全活動、森づくりにおける活動は、単独で進めているものではなく、多くの方々と目的やビジョンを共有していくことで、理想の森づくりをしていきます。

TAMAZO 協働イベントの開催

TAMAZOでは、多摩動物公園からの依頼により長年里山保全活動を進めてきました。管理された森において、来園者向けの体験イベントを開催することができ、今後も継続した協働活動として実施していきます。来園者に多摩動物公園の保全の取り組みと当会の森づくり活動の普及をしていきます。

里山へGO！

武蔵の森から学ぼうフィールドでは、東京都環境公社と協働イベントの「里山へGO！」を年2回実施します。気軽に里山での整備活動を体験できると好評で、多くの参加者が武蔵野の森を訪れてくれるようになりました。今年度も子どもから大人まで、幅広い世代が楽しめる自然体験を提供していきます。

交野・南星台フィールド

南星台フィールドでは、隣接するケアハウスと連携した活動も行っています。引き続きケアハウスの利用者の方に整備した森でのひとときを提供し、森林の生態系サービスを活かした活動を行っています。



自治体・行政との協力事業

緑地管理と環境教育活動を活かした公園管理、人材育成事業を軸とした提案など、これまでの実績を軸に、自治体や行政への事業を提案していきます。

◎森林環境譲与税の活用の提案

20年度は森林環境譲与税の活用を提案し、森づくりや人材育成の事業を提案します。

◎公園管理、指定管理事業への挑戦

公園はわたしたちの社会では、一番身近といてもいい緑との接点です。公園を中心に街づくり、人材育成へと発展させ、緑をベースとした社会づくりを実践することができる考え、今後は、公園管理や指定管理の事業に挑戦していきます。

◎学校との環境教育

19年度は、学校向けの教育プログラムカタログを制作することができました。各地の小中学校での環境学習の協力とフィールドでの体験学習なども視野にいたした活動を提案していきます。

◎新宿区レガプログラムへの提供

新宿区で行われている子ども向けの体験活動を提供するレガプログラムに、当会も協力し、自然体験、環境学習の活動プログラムを提供しています。今後も学びのある体験を提供していきます。

継続的な協働事業の推進

これまでも企業や他の団体との協働活動を行ってきました。特に企業との協働では、さまざまな目的で森づくりや環境教育的活動を企画・運営しています。参加者も社員から一般、子どもから大人まで、対象もさまざまです。これまで行ってきた活動をしっかりと継続し、さらに教育的な活動としてブラッシュアップしていきます。

◎ローソン（活樹祭、緑化事業）

全国各地の森づくりと教育活動を推進します。特に活樹祭では、宿泊型で森を体験しながら学ぶプログラムを実施します。

緑化事業としては、石垣島とTAMAZOをフィールドに森をつくり生態系を守る活動実施し、地域の教育活動としても展開していきます。

◎海の森公園

当協会は東京都が推進している海の森公園事業に関わってきました。東京オリンピックの開催を控え、公園としての開園は延期されましたが、ボランティア活動の推進と海の森での企業活動のコーディネートを継続します。

◎わたしの森

マンションの住民向けの菜園プログラムを引き続き実施します。今年度は以前の交流イベントの際にアンケートを取って希望が多かったサツマイモを栽培。土づくり、植え付け、夏のお手入れ、収穫まで行います。管理会社や住民の皆さまとコミュニケーションを取りながら、将来の貸農園化を目指してコーディネートを実施していきます。



広報 運営



グリーンセイバー元年

新しいグリーンセイバーテキストの積極的なPRと販売チャネルの拡大

検定のリニューアルにともない、内容、構成、デザインを一新したグリーンセイバーテキストの魅力を積極的にPR。検定受験の公式テキストとしてはもちろん、環境教育や企業のCSR研修等の教材として、また人と自然のこれからについて考えるための副読本として、より多くの方に手に取っていただけるよう情報発信していきます。購入方法についても、事務局への申し込みだけでなく、ネット書店なども利用できるよう、販売チャネルを拡大。安定した収益事業のひとつとして育てていきます。

広報・情報共有

会員の声を反映させやすい仕組みづくり

引き続き、ホームページ、聚レター、メルマガ、各種SNSを活用し、それぞれの特性を活かした情報発信、共有を推進。聚レターの企画段階から会員に参加してもらうなど、会員の声を編集内容に反映させやすい仕組みづくりを進め、会員が知りたいこと、発信したいことが読める会報誌をめざします。

発送コストの高騰対策

消費税率アップや郵便料金の値上げに伴い、聚レターの発送コストが大幅にアップしました。今後も充実した内容で発行を継続するために、体裁、発行回数、発送方法の見直しも含めて、検討したいと考えています。

寄付・助成制度の活用

助成金制度

環境活動における助成金だけでなく、法人の運営に関わる助成制度を活用し、より保全活動等で使える予算の確保を目指します。

会員を増やす

キャンペーンの継続実施

まずは会員になってもらうことで団体の活動に触れてもらうことを目的に1年目の年会費を無料にするキャンペーンを行ってきました。目標では、3年目となる20年度を一つの成果を図る年度とらえ、会員を増やす工夫をしていきます。

グリーンセイバーの仲間を増やす

新グリーンセイバー検定を実施。活動に関心のある方が参加しやすい体制とキャンペーンによる入会を促します。

事務局運営

法人会員企業とのコミュニケーションの見直し

法人会員として当協会の活動を支えてくださっている企業の皆さまとの交流や情報共有の場として「法人研究会」を定期的実施してまいりましたが、業種、業態が多様なため、スケジューリングやテーマ選定、関東近辺以外の企業のご担当者の参加、参加者数などに課題がありました。

今後は、各企業の要望や課題に応じたコミュニケーションや協働のあり方を模索しながら、企業とNPOがより良い関係を構築するためのアクションを検討したいと考えています。

バックオフィス、テレワーク

事務局業務の主な部分を占めるバックオフィス業務は本来活動を支えるために必要な仕事であるため、クラウドを活用した効率化、業務の改善と拡大を図ります。

また、テレワーク体制の整備により多様な働き方をしていくことができるようになりました。在宅勤務、オンラインミーティングをしやすくなった環境を活かし、多拠点をつないだ業務展開や地方との連携強化を図ります。



2020年度 予算計画

◆収入の部

項目	2019年度実績	2020年度予算	主な活動
会費(計)	¥3,890,000	¥4,011,000	
正会員	3,848,000	3,969,000	個人、家族、法人、団体
準会員	42,000	42,000	賛助、ユース
寄付	1,115,341	1,470,000	個人、キボウノカケハシ、Gooddo 等
事業(計)	¥22,284,811	¥23,556,000	
内訳) グリーンセイバー事業	2,691,781	3,274,000	検定、セミナー、過去問・テキスト販売、GS企画
内訳) フィールド事業	4,549,192	4,330,000	フィールド活動委託、法人・団体等の活動受け入れ
内訳) 環境コミュニケーション事業	15,043,838	15,952,000	行政委託事業、法人・団体との協働活動やコーディネート
その他収益	¥239,330	¥300,000	事業外助成金、その他
収入の部 合計	¥27,529,482	¥29,337,000	

◆支出の部

項目	2019年度実績	2020年度予算	主な活動
総務・管理	¥3,464,338	¥3,464,000	固定費、会員管理、日常業務 等
事業支出(計)	¥23,969,339	¥21,698,000	
内訳) グリーンセイバー事業	4,230,181	3,031,000	検定、セミナー、見直し検討 等
内訳) フィールド事業	6,160,918	4,169,000	フィールド活動推進、法人・団体との活動経費
内訳) 環境コミュニケーション事業	13,578,240	14,498,000	行政委託事業、法人・団体との協働活動やコーディネート
広報	¥3,770,946	¥3,529,600	会報誌・ホームページの作成と運営
法人税・住民税・事業税	¥150,000	¥150,000	法人税、住民税、事業税 等
支出の部 合計	¥31,354,623	¥28,841,600	

◆固定費(支出に含まれる)

人件費・通勤費・福利	11,438,700	9,600,000	事務局、アルバイト人件費、および通勤費
地代家賃	1,903,872	1,953,600	東京事務局ビル
光熱費・リース代 他	1,536,948	1,180,000	水道光熱費、リース代、保険代
社会保険、労災保険	1,076,755	950,000	
租税公課	806,352	882,000	消費税納付
固定費合計	¥16,762,627	¥14,565,600	

前期正味財産	¥7,203,575	¥3,378,434
当期正味財産増減額	△¥3,825,141	¥495,400
正味財産合計	¥3,378,434	¥3,873,834

・20年度は新型コロナウイルス(COVID-19)による協働事業の中止に伴う大きな収入減となることが予測され、非常に見通しの悪い年となる。

- ・グリーンセイバーの新しいテキストの発売と資格検定の実施による収入を目指す。
- ・事務局人件費とスタッフ謝礼を含む固定費と事業費の支出を抑え、黒字化を目指す。

【最高顧問】 池田 武邦	
【顧問】 山本 光二	樹医
【顧問】 澁澤 寿一	前理事長
【理事長】 清水 善和	駒澤大学総合教育研究部教授
【副理事長】 川端 自人	グリーンセイバー・マスター
【専務理事】 佐藤（中西） 由美子	グリーンセイバー・マスター
【理事】 飯塚 勇	株式会社丸原ホールディングス代表取締役
【理事】 伊藤 晴康	有限会社ゼフィルス 代表取締役
【理事】 大川 英登	御杖村フィールドリーダー
【理事】 岡本 俊彦	グリーンセイバー・マスター
【理事】 片山 雅男	夙川学院短期大学児童教育学科教授
【理事】 中島 伸二	東京ガス株式会社 サステナビリティ推進部長
【理事】 後藤 洋一	事務局長
【理事】 塚本 秀貴	グリーンセイバー・マスター
【理事】 広瀬 攻	三輪里山フィールドリーダー
【理事】 藤井 英夫	トヨタ自動車株式会社 先進技術開発カンパニー 環境部
【理事】 渡辺 順彦	株式会社アテナ 取締役会長
【監事】 三尾 隆志	公認会計士
【監事】 吉田 寛	公認会計士 公会計研究所 代表

【事務局スタッフ】

専務理事	中西 由美子
理事・事務局長	後藤 洋一
スタッフ（東京）	種池 真依子
スタッフ（東京）	石崎 庸子
スタッフ（東京）	加藤 武
スタッフ（東京）	陣野 益実
スタッフ（大阪）	山本 睦子







団体概要

【組織】

団体正式名称 特定非営利活動法人樹木・環境ネットワーク協会
設立 1995年9月19日
ホームページ <https://www.shu.or.jp/>

○東京事務局

[住所] 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-6
日本分譲住宅会館ビル8階南
[Tel] 03-5244-5447 [Fax] 03-5244-5448
[Mail] info@shu.or.jp

○大阪事務局

[住所] 〒576-0033 大阪府交野市私市5丁目17番11号
[Tel] 072-893-1716 [Fax] 072-892-3247
[Mail] kansai.syu1@nifty.com
[HP] <http://kansaisyu.o.oo7.jp/index.html>